

『美しき天然』（うるわしきてんねん）は、明治 35 年(1902) に作曲された日本の唱歌で、当時の楽譜には「ワルツのテンポで」と記されており、日本初のワルツとして紹介されることが多いようです。大正・昭和初期にチンドン屋の定番曲として演奏され、そのため特にメロディーが人口に膾炙しました。島倉千代子、森繁久彌も歌っています。(参考: 世界の童謡・民謡)

『美しき天然』...

作詞：武島羽衣 作曲：田中穂積

一

空にさえずる鳥の声  
峯より落つる滝の音  
大波小波鞞鞞と  
響き絶えせぬ海の音  
聞けや人々面白き  
此の天然の音楽を  
調べ自在に弾き給う  
神の御手の尊しや

二

春は桜のあや衣  
秋は紅葉の唐錦  
夏は涼しき月の絹  
冬は真白き雪の布  
見よや人々美しき  
この天然の織物を  
手際見事に織りたもう  
神のたくみの尊しや

三

うす墨ひける四方の山  
くれない匂う横がすみ  
海辺はるかにうち続く  
青松白砂の美しさ  
見よや人々たぐいなき  
この天然のうつしえを  
筆も及ばずかきたもう

神の力の尊しや

四

朝に起る雲の殿

夕べにかかる虹の橋

晴れたる空を見渡せば

青天井に似たるかな

仰げ人々珍らしき

此の天然の建築を

かく広大にたてたもう

神の御業の尊しや

もっと見る

「我が懐かしき歌」補遺 43 6/15 (土)

「この広い野原いっぱい」は、昭和 42 年(1967) 1 月にリリースされた日本のフォークソング。この曲は森山良子が東京・銀座の画廊を訪れた際に見つけたスケッチブックの詩に 30 分で曲をつけたものだそうです。なんでもあなたにあげてしまって、自分は彼から手紙がほしかったんですね。森山は元はジャズシンガー志望でしたが、本曲はたちまちヒットソングとなり、その後もジャズ以外の分野でばかりヒットソングに恵まれてしまう結果となりました。。この曲は、小学校の音楽の教科書にも採用され、1974 年に NHK 番組の『みんなのうた』でも採用されて全国的に放送されました。(参考: Wikipedia)

『この広い野原いっぱい』...

作詞：小蘭江 圭子 作曲：森山良子

この広い野原いっぱいさく花を

ひとつ残らず あなたにあげる

赤いリボンの 花束にして

この広い夜空いっぱいさく星を

ひとつ残らず あなたにあげる

虹にかがやく ガラスにつめて

この広い海いっぱいさく舟を

ひとつ残らず あなたにあげる  
青い帆に イニシャルつけて

この広い世界中のなにもかも  
ひとつ残らず あなたにあげる  
だから私に 手紙を書いて  
手紙を書いて

「我が懐かしき歌」補遺 42 6/9 (日)

「ブルーライトヨコハマ」は昭和 43 年 (1968) 12 月に発表されるや、たちまち大ヒットとなり、150 万枚を超える売り上げを記録しました。いしだあゆみは大阪でフィギュアスケート選手として活動中、芸能プロにスカウトされ、昭和 35 年 (1960) に芸能界入りしました。昭和 39 年 (1964) にレコードデビューするとともに、女優としても活動しました。『ブルーライト・ヨコハマ』の大ヒットから 9 回連続して NHK 紅白歌合戦に出場したあとは女優に専念、演技者としても卓越した才能を見せました。『ブルーライト・ヨコハマ』はその後話題になることはほとんどなくなりましたが、その後、由紀さおりがそれに新しい生命を吹き込みました。(参考: 二木紘三のうた物語)

...

『ブルーライトヨコハマ』

作詞：橋本純 作曲：筒美京平

街の灯りがとてもきれいね  
ヨコハマ ブルーライト ヨコハマ  
あなたと二人 幸せよ

いつものように 愛のことばを  
ヨコハマ ブルーライト ヨコハマ  
私にください あなたから

歩いても 歩いても  
小舟のように わたしはゆれて  
ゆれて あなたの腕の中

足音だけが ついて来るのよ  
ヨコハマ ブルーライト ヨコハマ  
やさしいくちづけ もういちど

歩いても 歩いても  
小舟のように わたしはゆれて  
ゆれて あなたの腕の中

あなたの好きな タバコの香り  
ヨコハマ ブルーライト ヨコハマ  
二人の世界 いつまでも

「我が懐かしき歌」補遺 41 6/2 (日)

昭和 36 年(1961)、作詞者のやなせたかしは『NET ニュースショー』の台本構成をしていて、番組内に音楽を流すコーナーがあったため、自身で作詞した「手のひらを太陽に」を、知り合いであったいずみたくに作曲を依頼して発表したものです。いずみの推薦により宮城まり子が歌いました。翌年(1962)には、NHK『みんなのうたで宮城まり子とビクター少年合唱隊が歌唱しました。当時、歌は反響もなくヒットもしませんでした。昭和 40 年(1965)にボニージャックスが歌ってキングレコードから発売され、その年の紅白歌合戦で歌唱すると、反響を呼び広く知られるようになりました。昭和 44 年(1969)からは小学校 6 年生の音楽の教科書に掲載されたそうです。作詞のきっかけは、自身が非常に落ち込んでいたときにふと開いた手を太陽にかざしてみたら脈々と血の流れる血管の筋が見えて元気を出さなくてはと思ったことだったそうです。(参考: Wikipedia)

『手のひらを太陽に』...

作詞: やなせたかし 作曲: いずみたく

ぼくらはみんな 生きている  
生きているから 歌うんだ  
ぼくらはみんな 生きている  
生きているから かなしいんだ  
手のひらを太陽に すかしてみれば  
まっかに流れる ぼくの血潮(ちしお)

ミミズだって オケラだって  
アメンボだって  
みんな みんな生きているんだ  
友だちなんだ

ぼくらはみんな 生きている  
生きているから 笑うんだ  
ぼくらはみんな 生きている  
生きているから うれしいんだ  
手のひらを太陽に すかしてみれば  
まっかに流れる ぼくの血潮  
トンボだって カエルだって  
ミツバチだって  
みんな みんな生きているんだ  
友だちなんだ

ぼくらはみんな 生きている  
生きているから おどるんだ  
ぼくらはみんな 生きている  
生きているから 愛するんだ  
手のひらを太陽に すかしてみれば  
まっかに流れる ぼくの血潮  
スズメだって イナゴだって  
カゲロウだって  
みんな みんな生きているんだ  
友だちなんだ

「我が懐かしき歌」補遺 40 5/25 (土)

「マルセリーノの唄」は 1955 年製作のスペイン映画「汚れなき悪戯」の主題歌。歌の冒頭は「セニョセニョマルセリーノ」と覚えていたのですが、日本語の歌詞にはないようです。中学の頃だったか、映画を見た記憶があります。スペインのある村のマルセリーノ祭の日にフランシスコ会の修道院の門前に置き去りにされていた赤子を同会の修道士たちがマルセリーノと名付けて大切に育てました。

マルセリーノが最後に「お母さんに会いたい」という希望が叶えられて死んでしまうところを思い出しながら YouTube でこの歌を聴き返すと切ない思いがします。(参考: Wikipedia)

...

### 『マルセリーノの唄』

作詞: 飯塚 広 作曲: P・ソロサバル

1

夢見よマルセリーノ 静かな寝顔  
優しいお母さんは どこかで見てる  
目覚めよマルセリーノ もうすぐ朝だ  
お顔をよく洗い たくさんお食べ

■可愛いマルセリーノ すくすく育て

2 響けよマルセリーノ 大きな鐘が

鳴る鳴る鐘の音 はるかな村へ

■優しいマルセリーノ 心に浮かぶ

■眠れよマルセリーノ 静かな寝顔

### ▼ 別歌詞

おはようマルセリーノ お目目を覚ませ  
お日様 野原で笑って見てる  
マルセリーノ マルセリーノ

可愛い天使

一日おもてで 仔馬のように

■マルセリーノ マルセリーノ

■走っておいで

「河は呼んでいる」は 1957 年のフランス映画「河は呼んでいる」の主題歌・シャンソン。  
作曲：ギイ・ベアール。『河は呼んでいる』の「河」とは、映画の舞台である南フランスの  
デュランス河。映画では、川のダム工事で支払われた賠償金を相続した少女オルタンスの苦  
悩と成長が描かれているそうです。映画公開当時人気のあったシャンソン歌手・中原 美紗  
緒は、音羽たかし訳詞の『河は呼んでる』で昭和 33 年(1958) (第 9 回) NHK 紅白歌合戦  
に出場しました。歌いだしの歌詞は「デュランス河の 流れのように」で、歌の前半ではフ  
ランス語による歌唱が入っていました。中原 美紗緒版の大ヒットを受け、5 年後の昭和 38  
年(1963)には NHK「みんなのうた」で『河は呼んでいる』として放送されました。なお、  
「みんなのうた」の水野汀子の歌詞は映画の内容とは離れたオリジナル版です。(参考: 世  
界の民謡・童謡)

『河は呼んでる』...

作詞・作曲：Guy Béart、日本語詞：音羽たかし

- 1 デュランス河の 流れのように  
小鹿のような その足で  
駈けろよ 駈けろ  
かわいいオルタンスよ  
小鳥のように いつも自由に
  
- 2 岸辺の葦に 陽はふりそそぎ  
緑なす野に オリーブ実る  
駈けろよ 駈けろ  
かわいいオルタンスよ  
心ゆくまで 子羊たちと
  
- 3 やがてすべてが 流れの底に  
埋もれる朝が おとずれようと  
ごらんよ ごらん  
かわいいオルタンスよ  
新しい天地に あふれる水を

『河は呼んでいる』

作詞：水野汀子 作曲:ギイ・ベアール (Guy Beart)

そよふく風に 小鳥の群は  
河の流れに ささやきかける  
ごらんよ あの空 しあわせの陽が  
あなたの上にも ほほえんでいる

野ばらのかげに 小鳥はいこい  
森の泉も しずかに眠る  
ごらんよ あの河 ささやく声が  
わたしの胸にも 呼びかけている

水の流れに 小舟は走る  
こげよ夜明けの 光の中に  
ご覧よあの日を 輝く朝が  
皆に優しく おとずれてくる

「我が懐かしき歌」補遺 38 5/11 (土)

「別れの朝」は、昭和 46 年[(1971) 10 月にリリースされた日本のバンド・ペドロ&カプリシヤスのメジャー・デビューシングルです。2011 年には設立 40 年を迎えたということです。ペドロ&カプリシヤスの代表曲のひとつで、高橋真理子、藤圭子も歌いました。(参考: Wikipedia)

『別れの朝』 ...

作詞：FUCHSBERGER JOACHIM

訳詞: なかにし礼

作曲：JUERGENS UDO

別れの朝 ふたりは  
さめた紅茶のみほし  
さようならの くちづけ  
わらいながら 交わした  
別れの朝 ふたりは



白いドアを開いて  
駅につづく 小怪を  
何も言わず 歩いた

※言わないで なぐさめは  
涙をさそうから  
触れないで この指に  
心が乱れるから※

△やがて汽車は 出てゆき  
一人残る 私は  
ちぎれるほど 手をふる  
あなたの目を見ていた△

(※くり返し)

(△くり返し)

あなたの目を見ていた